

カットウ釣りとは・・・餌鉤と掛鉤を組み合わせ、餌に寄ってきたフグを引っ掛ける釣り方。

【タックル】

竿：カットウ竿、カワハギ竿などの先調子（8：2～9：1）の竿を選びます。  
 その中でも穂先が柔らかい竿の方が目感度に優れ、アタリが取りやすくなります。  
 竿の長さはカットウ竿は 1.45m 前後、カワハギ竿は 1.8m が基本。  
 根が緩く、波が穏やかな状況では短いカットウ竿が機動性に優れ、  
 根が荒く、波が速い、高い状況では長いカワハギ竿が底取りしやすくなるので、  
 2種類の竿を状況により使い分けるのが理想的。

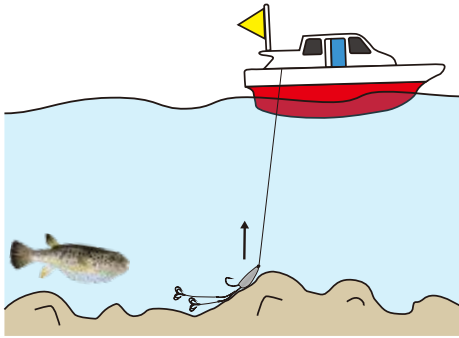


リール：小型の両軸リールが一般的。巻き上げスピードの速いハイギアタイプがおすすめです。

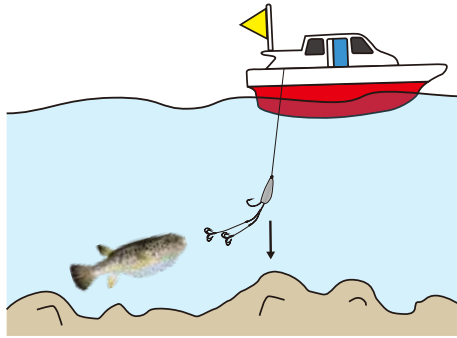
ライン：PE2 号以上を 100m 以上巻いてください。伊勢湾は根掛かりとの戦いになり、  
 PE1 号程度では仕掛けのロストばかりでまともに釣りができません。  
 ロストを避けるには、掛鉤を伸ばすか、ハリスを切って仕掛けが回収できる太い PE が必要となります。  
 また、根ズレ対策のリーダーも必須となるので、7 号前後のフロロを 1～2m 程度接続してください。

掛鉤：慣れないうちは比較的根掛かりの少ない狐タイプ、慣れてきたら早掛けタイプがおすすめです。  
 替鉤は 1 日 30 本程度を用意し、鉤先の変形や傷付いた場合は、ペンチとヤスリで修正しましょう。

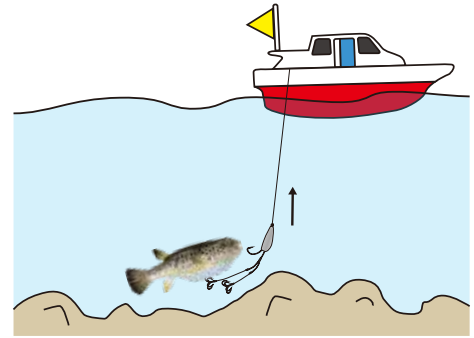
【基本テクニック】



①オモリ着底後素早く糸ふけを取り、  
 底取りをします。  
 このタイミングでフグが寄ってきている  
 可能性もあるので、  
 一度空アワセを入れます。

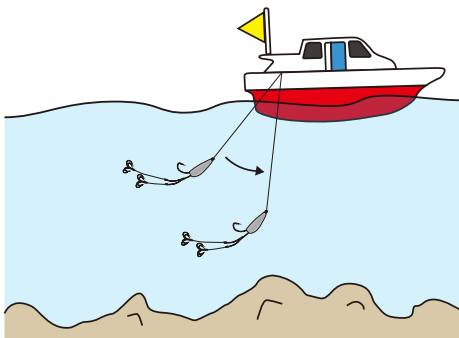


②空アワセ後ゆっくりとフォールさせ、  
 底取り後数秒間止めてアタリを待ちます。  
 アタリがなければ再度空アワセを入れ、  
 誘いを掛けます。

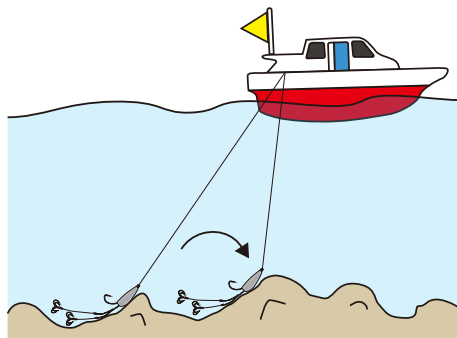


③どのタイミングでもアタリや  
 違和感を感じたら即アワセで OK。  
 ただし、素早い大アワセは NG。  
 寄ってきたフグを散らすので、  
 小さくシャープにアワセましょう。

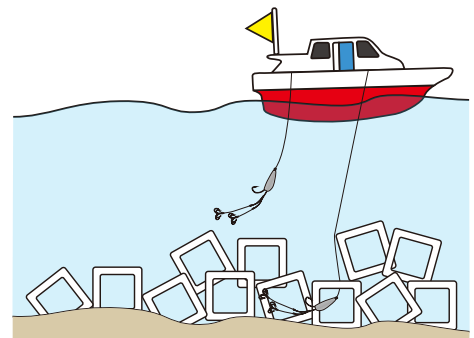
【ワンポイント】



投入時などに仕掛けが流れる場合は、  
 浮かせて待ちます。  
 仕掛けが安定したらフォールして  
 着底させましょう。



船は潮と風で移動するため、  
 仕掛けをそのまま底で止めていると  
 根掛かりします。  
 仕掛けが流れ出したら少し浮かせて再着底。  
 この繰り返しで底を探っていきます。



潮が速い時、波が高い時、深場、  
 人工魚礁で根が荒いポイントなどは  
 高い精度が求められます。  
 そんな時は底取りを諦め、  
 宙で待つことも必要になります。

【まとめ】  
 ご紹介したのはほんの一例です。他にも独自の理論で釣果を上げる名人もいます。回数を重ねる毎に新しい発想が釣果を上げる、  
 終わりのない楽しさがカットウ釣りにはあります。  
 アタリを取ってアワセで掛ける。アタリがあっても掛からない。アタリがなくても掛ける人がある。だからこそ熱くなれる。  
 カットウ釣りは面白い。